**『啐啄』～２学期の始まりによせて～　9月号**

**瀬田中学校　校長　今井　弘樹**

**☆彡　３９日間の長い夏休みが終わりました。今年の夏は「猛暑」と「豪雨」のイメージが強い夏だったように思いますが、今夏、生徒たちはどのような夏休みを過ごしてくれたでしょうか。生徒たちそれぞれは有意義な夏休みを過ごしてくれたものと思います。ぜひ二学期の生活の中で夏休みの体験を生かしてほしいと期待しています。**

**☆彡　さて、１学期の終業式では****、私から生徒たちに瀬田中学校３Ｓ運動の一つである　「あいさつ」について話をしました。「これまで、100校を超える中学校へ行きましたが、多くの他の中学校と比較しても、とても多くの生徒が、素敵なあいさつをしてくれます」「すごいですね」と言葉を送りました。そして、生徒たちに、夏休みには３Ｓ運動の「～爽やかな心のこもった挨拶+ワンを心掛ける」の「ワン」を「ありがとう」という言葉で表しましょう。「あいさつ」にプラスして「ありがとう」の言葉で、感謝の気持ちを多くの人に伝えましょうと呼びかけました。**

**人を「認める」という言葉は「目に留まる」からきています。目と目が合い、互いを認め合うことからあいさつが生まれます。「声を掛けると、どの生徒からも笑顔で素敵なあいさつしてくれるんですよ」「自分から見つけてあいさつしてくれるんです」と、もっともっと、****地域、保護者の方々、教職員が生徒たちとともに、自慢できる学校にしていきたいと思っています。**

**☆彡　２学期の始業式には、３Ｓ運動の「スッキリ環境、授業もイキイキ～スッキリ学習環境を整え、スタートよく授業に臨む～」を呼びかけました。２学期の１１月には大規模改修も終了します。校舎のスッキリ環境や自分たちの学校の美しさを引継いでいくためにも、特に、清掃活動に力を入れてほしいこと、生徒自身で取り組めることを考えて、是非、実行してほしいと伝えました。綺麗な環境を生徒自らが未来の後輩たちへ繋いでいってくれることを楽しみにしています。**

**☆彡　２学期は、１１６日と日数も多く、大きな行事である体育大会、合唱コンクール、文化祭があり、実りある学期になると思います。その長い２学期の中では、生徒たちは様々なことに直面することでしょう。特に、合唱コンクールでは、一つの歌をクラスで作り上げていく中で、日々、苦しかったり、辛かったりする気持ちになることもあり、仲間とのやり取りのなかで、乗り越えていかなければならない課題に直面すると思います。でも、そうした課題を乗り越えてこそ味わえる達成感、充実感があります。こうした困難に直面した時、生徒たちに大事にしてほしいのが、レジリエンス(＝心の回復力、竹のようなしなやかな力、ゴムボールのようにへこんでも跳ね返す力)です。逆境に負けない心、立ち直る力です。**

**☆彡　レジリエンスの力を高めていくときには、生徒たちには仲間が必要です。お互いに支え合って、励まし合うこと。それが逆境を乗り越える心、立ち直る心を強くしてくれます。瀬田中生の２学期の活躍と成長を、地域、保護者の皆様、教職員と一緒に、大いに期待したいと思っています。**